

2024年度 第2回 藤沢市立御所見中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年7月4日（木） 16時30分～
場 所 藤沢市立御所見中学校 図書室

【学校運営協議会委員（コミュニティ・スクール）】

1	会長 大井 秀幸	ふれあい共育ネットワーク（三者連携）代表
2	鈴野 達也	青少年育成協力会（青少協）代表
3	吉田 康行	御所見中学校 PTA 会長
4	加藤 宏章	元御所見中学校 PTA 会長
5	森 祐一（欠席）	元御所見中学校 PTA 会長
6	鈴木 理恵	元御所見中学校評議員
7	佐藤 孝子	御所見地区民生委員
8	須藤 和久	御所見市民センター長
9	坂本 哲也	CSW、市社会福祉協議会
10	山本 亜矢	ココロまち診療所 健康予防管理士
11	長谷部 葉子	慶応義塾大学 環境情報学部 准教授
12	副会長 山田 大	御所見中学校 校長
13	荒船 友樹（欠席）	御所見中学校 教頭
14	小川 直美	御所見中学校 地域担当 総括教諭

傍聴：渡邊（御所見中学校職員）

1. 開会あいさつ（加藤会長）

今日は暑い。みんな体に気をつけよう

2. 前回欠席委員より自己紹介

森 祐一 委員・長谷部 葉子 委員

3. 今回・次回の司会および記録担当者の選出（加藤会長）

第2回 7 / 4（木） 司会：加藤さん ・記録：小川

第3回 10 / 24（木） 司会：吉田さん ・記録：坂本さん

第4回 1 / 23（木） 司会：鈴野さん ・記録：

4. 御所見中学校近況報告

〈スライド上映〉

●スライドを見て

生徒の様子が伝わってきた。生徒の実際の様子をみたい。

2年前に行ったような授業見学を企画して欲しい。（ほぼ全員希望）

●修学旅行について

修学旅行に行く意味とは？→本物を体験することが貴重

デメリットもある。集合が朝6時。生徒だけでなくご家族の負担も大きい（お金も）

- 学校だよりについて
 - ウグイス色ってどんな色？
 - 自分事？他人事？
- 部活動移行について
 - モデルケースの様子を調査中
- 地域連携に係る教育の課題・現状
 - (過去に連携しており、再開を検討しているもの)
 - ☆1：先生と語る会→(現在)堅くなってしまう。参加者も少ない。
 - (提案)一緒に味噌造りをして、作業を通して会話をしてはどうか。

5. 【協議1】 コミスク運営計画への提案

①各所属団体、機関・地域からの提案

- 山本さん(☆1を受けて)
 - 診療所で大豆を作っている。脱穀・選別などやっている。
 - 味噌造りに協力できることがあるとおもう。
- 別室登校について(前回、渡邊教諭からの話題提起)
 - (現在)学校に行きたいけど、教室は難しい。
 - 1日〇時間と決められている。
 - (提案)もっと長い時間学校で過ごせるか試したい。地域の中から見守る人を募る。
 - 制服で学校に来られたという実績が自尊心を高め、達成感が得られる。
 - 教室復帰を目指す教員と、別室で好きなだけ過ごしてもいいという方針
 - 両者の間にずれがある。学校の方針が決められない。
 - コミスクと教員間で対話する機会を設けてもいいのでは？
 - (現状・近隣校の様子 などの準備が必要。学校の先生の不安を解消できたら)
- 湘南台中の実践報告(湘中ルーム)
- 大人になれば、学校がすべてではない。学校に行けなくても、人とつながっていればいいのでは。別室にはどのくらいニーズがあるのか調べる必要がある。
- 学校に行きたいけど教室に入るのは…という生徒と、学校を見るのも嫌…という生徒では、アプローチが違う。まずは、前者の対応をしたい。
- 地域の大人が子どもと接するとき、始めは分からないことが多く、不登校生徒とそうではない生徒との違いはわかりづらい。しかし、よく観察すると、明らかに人前を苦手とし、時間の制限を嫌うなどの特徴が見られた。
- 墨田区に“ステップ学級”というものがある。リタイアした元教員が子どもの相手をしていて、区教育委員会が運営している。同様の教室は藤沢にもあるが、善行に1カ所しかないため、御所見の生徒には遠過ぎる。通級が現実的ではない。
- 職場体験に協力してくれる機関をまとめている団体がある。その情報をもとに、気になる事業所に生徒が自分で連絡をするシステム(教員は事前に連絡しない)。大学も参加している。是非中学校とも交流・連携したい。

●今年度のコミスク会議日程(予定)

開催回	開催日時	会場
第3回	2024年10月24日(木) 16:00～	御所見中学校 3階 図書室
第4回	2025年1月23日(木) 16:00～	
第5回	2025年2月27日(木) 16:00～	